

新宮市で

和歌山県立夜間中学の開校に向けて準備中です！

本県では、様々な理由で義務教育を受けることができなかった人などに、教育の機会を提供できるよう、令和8(2026)年4月、県立新翔高等学校(新宮市)校舎内への県立夜間中学開校をめざし取り組んでいます。

めざす学校の姿

多様な個性を輝かせ、学ぶ喜び、わかる楽しさいっぱいの学校



「夜間中学」って、どんなところ？

- 公立中学校で、**授業料はかかりません。**
- 週5日、月曜から金曜まで**毎日授業**があります。
- **夕方5時30分ごろから夜9時ごろまで**授業があります。
- 教員免許を持っている先生が教えます。
- 決められた課程を修了すれば、**中学校卒業**となります。
- 特定の教科や日本語だけを学ぶことはできません。

どんな人が入学できるの？

- 義務教育の年齢(満15歳)を過ぎた人で、次のどれかにあてはまる人。(国籍は問いません)
 - ▶ 様々な理由で、**中学校を卒業していない人**
 - ▶ 不登校などの事情により、**義務教育が十分に受けられなかった人**

服装は自由！ 学校行事も！

～ 開校に向けたこれまでの取組 ～

夜間中学フォーラム



国の動向や他県の夜間中学の取組を紹介することを通して、夜間中学の役割や意義について知っていただき、県内に夜間中学の情報が行き渡ることを目的とし、令和6(2024)年9月28日に新宮市、翌29日に田辺市で「夜間中学フォーラム」を開催しました。2日間で延べ220人の参加がありました。

フォーラムでは、文部科学省の教育制度改革室長(当時)の小畑康生さんによる講演のあと、県の取組の紹介、パネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、江口怜さん(摂南大学講師)がコーディネーターとなり、山下雅道さん(姫路市立あかつき中学校長)、山田哲也さん(徳島県立しらさぎ中学校教頭)から、実際の夜間中学での取組をご報告いただきました。



イラスト：政府広報オンラインから引用

夜間中学設置準備委員会

令和5(2023)年度に2回開催した「夜間中学設置検討委員会」での話し合いを経て、令和6(2024)年度は「夜間中学設置準備委員会」を3回開催しました。

委員会ではいただいたご意見を参考にしながら、「和歌山県立夜間中学設置基本計画(案)」を作成し、パブリックコメントを行いました。引き続き、基本計画の策定に向け進めていきます。

体験授業会・個別相談会

「夜間中学ってどんな勉強をするところなの？」などの疑問に答える機会として、体験授業会・個別相談会を3回開催しました。3回で延べ33人の参加がありました。

令和7(2025)年度も引き続き、体験授業会、個別相談会を開催するとともに、入学説明会や入学希望者の募集を行い、開校に向けた準備を進めます。



次回開催日程などは県義務教育課のホームページ、または広報誌「県民の友」などで順次お知らせします。

出典：【政府広報オンライン「夜間中学を知っていますか?」
https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6818.html

詳しくはこちら▶▶

県義務教育課ホームページ
(☎073-441-3709)



いよいよ開幕! 大阪・関西万博



万博公式サイト

- 開催期間 令和7(2025)年4月13日から10月13日までの6ヶ月間
- 場所 大阪夢洲
- テーマ **いのち輝く未来社会のデザイン**
- コンセプト **「未来社会の実験場」**



提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会



大阪・関西万博公式キャラクター
ミヤクミヤク
©Expo 2025

160を超える国・地域、国際機関が参加し、人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場

和歌山県も、関西広域連合が出展するパビリオン内に「和歌山百景～靈性の大地～」をテーマに、「上質な和歌山」にこだわった「和歌山ゾーン」を設置。巨大な映像タワー「トーテム」をはじめとしたアートな「空間」で、和歌山の自然風景、神話、歴史などを表現した「映像」と、美味しさと芸術性を兼ね備えた「食」をお楽しみいただくことを通じて、本県の魅力を発信します。

和歌山ゾーン以外にも、多くの催事イベントが開催されます。

4月30日(水)～5月3日(土・祝)の「EXPOメッセ」では、地場産業等の歴史や技術をPRする催事、5月3日(土・祝)～5日(月・祝)の「TEAM EXPOパビリオン」では、学生による地域の魅力創出に向けた取組内容の発表、そして10月3日(金)の「EXPOホール」と「EXPOアリーナ」では、和歌山の歴史文化を表現したステージ等、和歌山の魅力を国内外に発信します。

和歌山ゾーンの“こだわり”や準備風景を収めたメイキング動画、万博に向けての取組内容等をまとめた特設ホームページ「和歌山百景」、最新情報をいち早くお届けする万博推進課公式Instagramも開設中です。



世界的イベントである「大阪・関西万博」を和歌山から盛り上げていきましょう!

和歌山県の取組はこちら



万博特設WEBサイト



万博推進課Instagram

展示・イベント

いずれも休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。

県立近代美術館・県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

※県立近代美術館は改修工事のため令和7(2025)年4月11日まで休館中

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14
TEL.073-436-8670

世界遺産登録20周年記念特別展
「聖地巡礼—熊野と高野—」
第V期展示「蘇りの地・熊野—熊野本宮大社・湯峯と熊野川—」

期間/2月1日(土)～3月9日(日)

熊野本宮大社の歴史と名宝を、山岳修験の「擬死再生」「蘇り」という視点から紹介します。
(https://hakubutu.wakayama.jp/)



和歌山県指定文化財
熊野本地仏曼荼羅(熊野本宮大社蔵)

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411
TEL.073-471-6123

令和6年度春期企画展「古代人のよそおい」

期間/3月15日(土)～6月15日(日)

縄文時代から飛鳥時代の日本列島の人は、アクセサリーや化粧など、さまざまな方法でよそおいを凝らしてきました。アクセサリーや服装に関する出土品から、古代の人々のよそおいの特徴や、よそおいに込められた意味を紹介します。



山東22号墳 玉類(和歌山県教育委員会蔵)